

いしおか

# 市議会だより



## 市民に開かれた

## 議会を目標して



表紙写真/高浜入江から筑波山を望む



副議長  
**徳増千尋**



議長  
**島田久雄**

すので、よろしくお願い申し上げます。

また、今定例会におきまして、常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事の契約案件を可決いたしました。これにより、平成27年春の竣工を目指し工事が始まりますが、石岡駅周辺整備事業と合わせまして、かつての賑わいを少しずつ取り戻せるよう、議会としても積極的に取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

もとより、安全安心なまちづくりに向けまして、市民目線で市執行部と議論を重ねつつ、議会の権能を発揮していくことが私たち議員の役割であり、使命でございます。そのため、議会改革にも積極的に取り組むことが必要であると考え、今定例会におきまして、議会改革特別委員会を設置したところでございます。

どうか、今後とも市議会に対しましてご支援とご理解を賜りますようお願いを申し上げます、挨拶とさせていただきます。

第40号

ぎかい  
広報紙

平成25年8月15日発行

# 平成25年度一般会計補正予算など

## 15議案をすべて可決しました

6月4日から6月19日に開催した平成25年第2回定例会では、市長から14議案、議員から1議案が提出されました。  
(3ページ参照)

### ●平成25年度の一般会計補正予算

補正予算は、国・県の補助事業の変更に伴う経費、緊急性の高い事業に対応する経費の予算が計上されました。補正予算額は1億5209万4千円を追加して、補正後の歳入歳出総額は288億209万4千円となります(年度当初の予算額は286億5000万円)。  
歳出の主な内容として、授産所整理事業922万4千円の増額は、廃止した授産所の解体工事費、園芸振興経費484万円は、降ひょう被害による梨選果場の屋根改修及び

農協が導入する糖度計・かん水施設に対する補助金、消防機械整備事業4387万円は、高規格救急自動車・消防本部指揮車の購入費、中央公民館管理運営経費500万円は、地区集会所の建設費補助金、そのほか、寄附金を基金として積み立てる奨学金基金積立金1000万円、小学校入学福祉祝金基金積立金4000万円などです。

### ●工事契約の締結

議案第72号は、北小学校の校舎を建設する工事請負契約を締結するものです。契約金額は3億3043万5千円で、工事内容として、鉄骨造り2階建ての校舎と鉄骨造り1階建ての渡り廊下の建設を行う工事となります。平成25年12月16日までの工期を予定しています。

### ●議会改革特別委員会の設置

議会活動における基本的事項の確立などを含めた議会改革を行うため、議会基本条例の制定及び議会改革に関する調査研究を行うことを提案理由とし、議員から「議会改革特別委員会の設置について」の議案が提出されました。本会議で審議・表決の結果、全会一致で議会改革特別委員会を設

置しました。(議会改革特別委員会委員の構成は12ページ参照)

今回提出された議案は、各常任委員会に付託をして審査を行いました。本会議で表決の結果、すべての議案が原案のとおり可決(承認・同意)になりました。

また、本会議の最後に「市長直轄組織に関する調査特別委員会の設置に関する動議」が提出され、投票の結果、賛成少数で否決となりました。

### 新議長・副議長が選出される

定例会の最終日(6月19日)には、前議長・副議長から辞職願が提出されたことに伴い、議長及び副議長選挙が行われました。投票の結果、議長に島田久雄氏が、副議長に徳増千尋氏が選出されました。  
また、任期満了に伴う各常任委員会・議会運営委員会委員の改選が行われました。(委員会委員の構成は12ページ参照)

## 議長・副議長のプロフィール

議長 島田久雄氏



旧八郷町議会時代の平成12年から議員を務め、現在4期目  
市民経済委員会副委員長、副議長

などを歴任

議長職に就いて「円満な議会運営と、開かれた議会を目指して努力をしていきたい」と抱負を力強く語る

座右の銘は「初心忘るべからず」  
昭和23年生まれの65歳、嘉良寿理在住

副議長 徳増千尋氏



旧石岡市議会時代の平成7年から議員を務め、現在5期目  
総務企画委員会委員長、議会運営

委員会委員長などを歴任

副議長職に就いて「議会と執行部は車の両輪。石岡市議会、石岡市発展のため尽力していきたい」と語る

好きな言葉は「感謝」  
昭和20年生まれの67歳、南台在住

議案の内容は、石岡市議会ホームページで詳しく確認できます。  
石岡市議会を検索するか、URLを直接入力してください。 <http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/>

石岡市議会



## 議案の審議結果

**第2回 定例会** ※第2回定例会（6月4日～6月19日）で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第61号	専決処分に対し承認を求めることについて（石岡市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第62号	専決処分に対し承認を求めることについて（石岡市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第63号	専決処分に対し承認を求めることについて（石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第64号	平成25年度石岡市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第65号	平成25年度石岡市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第66号	平成25年度石岡市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第67号	平成25年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第68号	石岡市税条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第69号	石岡市都市計画税条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第70号	石岡市基金条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第71号	石岡市基金条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第72号	工事請負契約の締結について（平成24年度国補石岡市立北小学校校舎建設工事）	原案可決
議案第73号	工事委託契約の締結について（常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事）	原案可決
議案第74号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議員提出議案第1号	議会改革特別委員会の設置について	原案可決

## † 永年勤続議員表彰 †

このたび、7人の議員が地方自治の伸長発展と市政の向上に貢献した功績に対して贈られる永年勤続議員表彰を受賞しました。

池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	塚谷重市	島田久雄	徳増千尋	高野要
勤続10年表彰 全国市議会議長会	勤続10年表彰 全国市議会議長会	勤続8年表彰 茨城県市議会議長会	勤続10年表彰 全国市議会議長会	勤続10年表彰 全国市議会議長会	勤続15年表彰 全国市議会議長会 茨城県市議会議長会	勤続15年表彰 全国市議会議長会 茨城県市議会議長会

## 常陸国風土記編さん1300年の節目の年の記念事業



やまもと すずむ 山本 進

**問** 石岡市にとって、今年は、713年に風土記(※1)編さんの詔が出されて1300年となる大変に意義のある節目の年です。東日本に唯一残る常陸国風土記は、私たちが誇るべき貴重な文化遺産であり、県内の他市町では、既に風土記に関連した事業がいくつも行われ、県内外に多くの情報が発信されています。常陸国衙(※2)が置かれた本市では、独自に記念事業を行い、情報発信をしていく計画があるかどうか伺います。また、記念事業を行うのであれば、観光イベントばかりではなく、石岡市民、特に子どもたちが石岡の歴史を学び、郷土愛を醸成する

ことができるような事業を推進して欲しいと思います。

**答** 常陸国風土記は、本市で編さんされたものです。そこで、学術的観点からの記念事業としての各種講演会、市内各所から出土した遺物展示、イベントなどの事業を計画しています。

現計画では、「常陸国国府が置かれた地歴史の里いしおかを探る」をキヤッチコピーに、「常世の国いしおか」をサブタイトルとし、記念事業に向けて全庁的な取組を進め、11月中旬ごろを実施予定としています。市全体が一体となって、この事業を推進していくことにより、交流人口の拡大と、市民に歴史の里いしおかを再認識していただき、郷土愛の醸成を図っていきたく考えています。

●その他の質問事項  
●石岡の観光産業振興

## 乗合いタウンメイト(デマンド交通)

### 高齢者の利便性向上を



ひろまさ とく徳 増 千 尋

**問** 乗合いタウンメイトの利用者数は、石岡地区で巡回バスを運行していた時や巡回バスとタウンメイトを同時運行していた時と、現在を比べると今では約半分以上になっています。利用者の多くは高齢者で、病院へ行くために利用しています。しかし、その高齢者が病院から自宅に帰る予約を、なかなか取ることができません。病院は、何時に終わるか分からず、また高齢者は、予約をするために公衆電話を使うことも容易ではありません。

これまでに運行していた巡回バスに戻して欲しいと思います。今後もタウンメイトを運行するならば、定時性の確保や確実な予約ができる改善は、どのようにするのか伺います。

**答** 定時性のある公共交通への改善に向け、9台すべての車両を活用したデマンド方式(※3)と路線バス方式(※4)を組み合わせたルートや時間帯などの検討を過去に行ってきました。しかし、異なる方式を併用すると、車両の利用制限や、かえって利用しづらくなるなどの問題が想定されたので、現行の方式で運行しています。また、通院している利用者のために、医療機関等に対して帰りの乗車予約の依頼ができないか検討するなど、利用者、民間交通事業者等との連携を図りながら、限られた財源を有効に活用し、可能な範囲で利便性の向上を図りたいと考えています。

●その他の質問事項  
●本庁舎建設  
●ごみ処理施設建設  
●事務事業評価シートと職員配置数

## JR都区内フリーきっぷ・都区内りんかいフリーきっぷの復活



まさよし こばやし 小松 豊 正

**問** JR東日本では、東京近郊の各駅から東京都区内までの往復乗車券と、東京都区内のJR線が乗り降り自由となるフリーエリアがセットになった大変便利なフリーきっぷがありました。今年3月31日で廃止になりました。これは、経費の削減を図るといったもので、利用者の立場に立ったものではなく、納得のできる理由ではありません。フリーきっぷを廃止しないで欲しいという市民の切実な声をどのように受けとめているのか。積極的に市民の声を代表してこれらフリーきっぷの復活を主張して欲しいと思います。どのようにお考えか伺います。

**答** 券売機で買う切符からIC乗車券である「Suica」へと転換が進んだことにより、フリーきっぷの利用者数が減っていった結果を踏まえ、JR東日本は発売を終了したものと認識しています。本市では、フリーきっぷ等の復活も含め、常磐線の輸送力増強や利便性の向上を図るために、茨城県及び常磐線沿線の19市町村で構成する茨城県常磐線整備促進期成同盟会を通じて、毎年JR東日本へ要望を行っています。今後も、常磐線における利便性の向上を図れるよう、引き続きJR東日本への要望活動を行っていきたく考えています。

●その他の質問事項  
●風疹の予防ワクチン接種に対する助成  
●自然エネルギーを活用した地域経済の活性化  
●「元気臨時交付金」の積極的活用など

※3 予約に基づき利用者の自宅や指定の場所へ迎えに行き、希望する目的地まで送る運行方式。  
※4 運行ルートと時刻表が決まっている、定時定路線による運行方式。

# 地域福祉の充実

## 小地域福祉活動の基盤づくり



おかのたかお 野孝男

が、どのようにお考えか伺います。

**問** 石岡市では、ひとり暮らし高齢者や、地域でさまざまな生活課題を抱えて困っている方々を対象とし、地域ケアシステム推進事業に取り組んでいます。超高齢社会を迎えるにあたり、もつと地域に密着し地域の福祉力を高める必要があると考えます。他自治体の先進事例ですが、牛久市が推進している地区社協基盤づくり事業など本市も取り組んでどうか。行政だけでは限界があるので、行政が主導し各地域のコミュニティづくりをして、地域の方々と一緒に高齢者や障がい者の諸問題の解決策を見出すことが理想であり、本当の協働のまちづくりだと思います

**答** 平成24年3月に、市と石岡市社会福祉協議会の2者は、行政による地域福祉計画と社会福祉協議会が中心となって取り組む地域福祉活動計画を策定しました。この計画では、手助けや支援を必要としている人たちが抱える生活課題を住民一人ひとりの努力である自助、住民同士の相互扶助である共助、公的な支援制度である公助の連携によって解決していく取組が必要であるとしています。行政だけでは、これから高齢化社会に対応できないと考えますので、本市の地域特性に適した取組のモデルケースをつくるなど、協働の方向性を十分に検討していきます。

### その他の質問事項

- つくばエクスプレス延伸
- 放課後児童対策事業の運営
- 地方公務員給与の臨時特例



せきのただお 関忠男

健診を取り入れていただきたいと思いますが、どのようにお考えか伺います。

# 歯科健診の充実

## 5歳児健診の導入を

**問** 厚生労働省の歯科疾病実態調査によると、3歳児健診時における未治療の虫歯のある幼児は25%ですが、5歳児では約47%に達しており、1歳から15歳未満の中でこの5歳児の割合が最も高いというデータが出ています。就学前健診までに2年間ありませんが、永久歯が生える大事な時期でもあり、子どもたちにとって大切な歯をどのように守っていくのか。既に東京では5歳児健診を行っており、歯科健診から児童虐待の兆候も伺えるようです。石岡市でも5歳児

**問** 厚生労働省の歯科疾病実態調査によると、3歳児健診時における未治療の虫歯のある幼児は25%ですが、5歳児では約47%に達しており、1歳から15歳未満の中でこの5歳児の割合が最も高いというデータが出ています。就学前健診までに2年間ありませんが、永久歯が生える大事な時期でもあり、子どもたちにとって大切な歯をどのように守っていくのか。既に東京では5歳児健診を行っており、歯科健診から児童虐待の兆候も伺えるようです。石岡市でも5歳児

**答** 本市では、1歳6か月児、2歳児及び3歳児に対して歯科健診を実施するとともに、就学前の幼児に対し、フッ化物塗布や効果的な歯の磨き方の相談を行うピカピカ歯みがき教室を実施しています。また、成人を対象とした口腔がん検診や歯周病検診も行い、子どもから大人まで幅広く歯科健診を実施しています。

**答** 就学前の時期は、一生にわたって使う永久歯に生え変わる時期ですので、保育園や幼稚園に対して、歯みがき教室への参加の呼びかけや、虫歯があった場合の保健センターとの連携など、歯科健診の充実に取り組んでいきたいと考えます。

### その他の質問事項

- (仮称)青丘学院つくば

# 中心市街地活性化にかかる諸事業の反省点と人口減少時代における中心市街地の将来像



たがわやすし 谷田川 泰

**答** 初期の中心市街地活性化基本計画で手がけた、歴史と文化を残しながら交流人口を増やしていくということは、現在も継続して行っています。しかし、それだけでは中心市街地の活性化が図れないので、平成21年12月、現在の中心市街地活性化基本計画が内閣総理大臣の認定を受け、駅周辺整備等に着手しています。橋上駅を中心とした駅周辺整備を行うことにより、将来的に商業的なエリアとしての価値が上がり、価値が上がれば民間資本も入ってくると思います。中心市街地の活性化に向け、駅周辺整備がまず取り組むべき施策であると考えます。

**問** 平成13年1月に策定した初期の中心市街地活性化基本計画は、空き店舗の活用や電線地中化が進むと同時に歴史の道の整備、登録文化財が指定され、歴史的資源を生かした石岡らしさの創出力が注がれたと理解しています。

一方、現在の中心市街地活性化基本計画に基づく事業の成果はどうか。今、まちなかでは多くの家屋が取り壊され、空き地が増え、人口減少が加速し、シャッター通りや空洞化が想像以上に進んでいます。この大きな変貌を踏まえ、これらに必要な施策は何であるとお考えか伺います。

### その他の質問事項

- 地域資源の活用と市民協働
- 原発事故の損害賠償

※5 茨城県が推進する介護予防のための体操で、立つ、座る、歩くなど日常生活を営むための動作の訓練にもなる。

### 高浜駅周辺整備事業



ひしぬま かず ゆき 菱 沼 和 幸

**問** 地域住民の念願である高浜左岸堤道路整備事業により、バイパスが開通すれば、まちなかで車両の交通量が減少し、安全な通学道路になると思っています。開通見通しの時期と地域への広報活動をごのようにするのか。また、この高浜地域は、雨水対策が十分ではなく、対応施策をどう考えているのか伺います。

**その他の質問事項**  
●防災行政無線の整備事業  
●教育行政●耕作放棄地の再生など

**答** 高浜左岸堤の道路整備は、県事業の愛郷橋整備に併せた整備を進め、本年8月の完成を予定しています。一日でも早い開通に向け取り組みとともに、地元区長はじめ地域との情報共有を密にしていきます。また、高浜地域の雨水対策は、6月中に排水整備工事とポンプ施設の設置工事に着手し、早期完成に向け対応しています。

### 街の将来像

#### 介護施設待機者の受け入れ



むら かみ やす みち 村 上 泰 道

**問** 若者の確保や労働者人口の確保をしていくことは重要ですが、2060年には日本の人口の40%が高齢者となり、高齢化の流れは防げません。高年齢社会を迎えるにあたり、石岡市が現在取り組んでいる施策を伺います。また、高齢社会を好機と捉えた事例が考えられないか。例えば、首都圏の介護施設待機者を本市で受け入れ、その際に受入元の自治体にも金銭的負担をしてもらうといったことができないか。本市は介護事業所が十二分にあると評価されており、その特

**その他の質問事項**  
●市民会館自主事業●再生可能エネルギー調査事業●交流人口対策

**答** 高齢者が健康で生きがいを持てる生活を送ることは、ますます重要になってきています。本市では、介護予防事業や相談事業のほか、シルバーハビリ体操(※5)の普及推進など市民が市民の手で行う介護予防と生きがいづくりを推進しています。首都圏の介護施設待機者の受け入れは、国も検討を始めており、地域的に高齢者に対するサービスが偏在している中で、制度としてどのようにしていくか、課題が明らかになりつつあるようです。ご提案の介護施設待機者の受入施策は、今後研究をしていきたいと考えます。

### AED(自動対外式除細動器)の普及



たま づくり よし み 玉 造 由 美

**問** 突然の心停止は、日常のどこでも起こる可能性があります。救命率は、心停止後1分ごとに10%の確率で下がり、5分を過ぎると命が助かっても後遺症の残る可能性が高いと言われています。そのため、倒れた人のそばにいます方がAEDを使い、一刻も早く救命を行うことが必要です。AED講習を多くの方に受けていただき、すぐに使用できるように維持管理を行い、設置場所の周知を図ることが重要になります。市内のどこにAEDが設置されているか一目で分かるように、マップを作成して市民に周知するべきだと思いますが、どのようにお考えか伺います。

**その他の質問事項**  
●魅力ある観光地域づくり推進

**答** AEDは、薬事法における高度管理医療機器及び特定保守管理医療機器との指定を受け、一定頻度使う可能性があれば講習を義務付けられますので、全ての市職員と消防団員は救命講習会を受講しています。また、一般向けには平成18年から石岡消防署で毎月第3日曜日に救命講習会を実施しているなど、これまでに延べ1万3000人以上が受講しています。AEDの普及を図るとともに、講習会への参加をさらに促進していきます。現在、市のホームページで設置箇所を周知していますが、ご提案のマップ作成に関しては、さらに分かりやすくするため、今後検討していきたいと考えます。

※6 アジア太平洋地域における高い自由化を目標とした、非関税分野や新しい貿易課題を含む多角的な経済連携協定。  
※7 農業や水産業などの第一次産業の従事者が、第二次産業(食品加工)や、第三次産業(流通販売)にも業務展開している経営形態。

### 八郷地区の活性化方策

#### ワイン製造プロジェクトの検討を



せき 関 たくし  
あきら 昭

集団による検討委員会等を立ち上げ、早期に結論を得られる努力をして欲しいと思いますが、どのようにお考えか伺います。

**問** 八郷地区が活性化するには、果樹産業を活性化させる以外にないと思えます。八郷地区は昔から果樹産業に最も適した地域であり、これほど恵まれたところはありません。現在は、TPP(※6)の問題や後継者不足といった状況にあります。が、この逆境こそチャンスと考え、夢のある果樹産業へ転換する機会と捉えるべきです。そのための条件は、付加価値のある産業への転換と、個人の経営からの脱却です。そこで、ワイン製造のプロジェクトを立ち上げてはどうか。

**答** 本市は、果樹生産が盛んですが、農業者の高齢化や後継者不足などの将来的不安も抱えています。現在、果樹を利用した酒類の開発など、付加価値を高める六次産業化(※7)の取組が広がっており、今後も関係機関とともに、生産者に対する支援を強化したいと考えています。また、先駆的な取組が生産者個人から組織へと波及するよう、支援を検討していきます。

### 人口減少の対策

#### 少子化対策に手厚い支援を



むら 村 たかし  
ゆき 行

**問** 少子高齢化が進む一方で、急激な人口の減少が進み、少子化対策に手厚い支援をしていかなければなりません。結婚しても、子どもが生まれたときの十分な養育費が確保できる見通しが立たないなどの経済的理由により、出産を控える傾向があること、子育てにかかる費用が高いことなどが少子化の要因として指摘されています。石岡市における人口推移状況と将来予想、人口減少対策をどのようにお考えか伺います。

**答** 本市は、全国的な傾向と同様に少子高齢化が急速に進んでいます。国勢調査の結果では、平成17年度に8万1887人、平成22年度には7万9687人で22000人減少し、高齢人口は年少人口の2倍です。また、平成37年度に7万2000人程度にまで減少すると見込まれています。

そのため、本市では、就労機会の充実、子育て、教育環境の充実、高齢者の生きがいづくりの充実など、リーディングプロジェクトをはじめとする定住促進のための施策や、交流人口を増加させるなどの施策に取り組んでおり、今後も効果的な施策を打ち出していきたいと考えています。

**その他の質問事項**  
●ソーシャルネットワークキングサービス活用

### 自然、歴史と文化の国際観光都市づくり



やま 山 たかし  
あきら 晟

**答** 現在、地域主権が進み、地域特性を生かした大競争の時代に突入したとも言われています。本市は、JR常磐線や常磐自動車道が縦断し、北関東自動車道、茨城空港が隣接しています。さらに、つくばエクスプレスとのアクセスは朝日トンネルの開通により利便性が向上しました。この交通ネットワークによる利便性を生かし、広域的な観光振興をさらに図りたいと考えています。なお、ご提案の100万都市構想ですが、各首長の考え方がまとまっていない状況であり、難しいと考えています。

**問** 石岡市は、昔国府が置かれ、東日本2番目の大きさの舟塚山古墳もあります。八郷と合併して、歴史にも自然にも恵まれた土地となりました。さらに、茨城空港、つくばエクスプレスが近くにあります。東京から石岡までは高速バスで1時間、鉄道も上野駅から特急で1時間という恵まれた環境にあります。

**私**は、本市は茨城空港とつくばエクスプレスを活用して、100万都市をつくるべきだと考えます。本市から呼びかけ、小美玉市、つくば市と国際観光都市づくりの話し合いをしていただきたいと思いますが、どのようにお考えか伺います。



### 有害鳥獣捕獲事業



おかの野 さえ工 岡

問 材木価格の低下や山林所有者の高齢化により、山林の手入れがされていないという現状から、有害鳥獣であるイノシシ、カラス、ハクビシンによる農作物への被害は年々増加しています。特に、里山集落や山裾の集落では農作物の被害に非常に困っています。毎年、猟友会の皆さんが有害鳥獣捕獲隊を編成して駆除を行っていますが、その数は減少していないのが現状です。そこで、本年度の捕獲事業は、どのような方法で行うのか。また、有害鳥獣駆除対策に国からの定額補助や特別交付税の措置があるのか伺います。

答 今年度の有害鳥獣の捕獲は、新たに石岡市鳥獣被害対策実施隊を結成し、被害の多い時期である6月と9月を基本に活動する予定です。また、必要に応じ猟期中の実施も検討し、捕獲活動と併せて電気柵の共同設置など、地域ぐるみの被害防止活動に取り組んでいきたいと考えています。

また、国からの財政支援は、法制度改正により鳥獣被害対策に係る支援が拡充されます。今年度から、鳥獣被害防止総合対策交付金として、上限200万円が定額で補助されるとともに、事業経費から補助額を差し引いた残額の80%が特別交付税措置されることになりました。

●その他の質問事項  
農力アップ推進事業中の農産物販売PR

### 成人用肺炎球菌の予防接種に対する助成金制度



おおつか たかし 男 大槻 勝

問 石岡市では、小児に対する肺炎球菌ワクチン予防接種の助成がありますが、高齢者が叫ばれる昨今、成人、とりわけ高齢者に対する公的支援がないのは残念です。県内では、平成24年度に18市町村、平成25年度に24市町村が同接種に対する助成金制度を導入しているようです。これは、高齢者の肺炎による死亡率が高いことがその背景にあると思います。本市でも他市町村に遅れないよう、助成をすべぎだと思えますが、どのようにお考えか伺います。

答 肺炎球菌は、免疫の働きが十分でない乳幼児や高齢者に、さまざまな病気を引き起こします。肺炎球菌には90種類以上の型がありますが、成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種では、肺炎球菌による肺炎の8割に効果があると言われ、肺炎の重症化防止などの効果が期待されています。子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンは、本年4月から予防接種法に規定する定期接種に位置付けられました。成人用肺炎球菌ワクチンは、国において財源を確保し、定期接種化の検討を進めているところです。本市では、条件等を整備し、助成ができるように検討したいと思えます。



### まちなか魅力賑わいづくり推進屋台村に関する業務委託の適法性



たかの野 たかひこ 要

問 国の補助金を充当している屋台村事業ですが、借地交渉の頓挫・計画の練直しなどで24年度内に何の成果も見せず、事業が中止されました。この事業は、環境経済委員会で、計画内容がずさんであることが指摘されています。特に、屋台村として建物を建設する事業を委託したNPO法人まちづくり市民会議は、建設業を営む許可がありません。また、屋台村が市の財産となる場合、随意契約をすることはできないと考えられます。これらは法律違反にあたるのではないかと思えます。まちづくり市民会議へ業務委託できる理由をお伺いします。

答 まちづくり市民会議への今回の業務委託は、社会実験という位置付けで、屋台村建築だけでなく、賑わいづくりの方策として有効かどうか実証を行うことを目的としています。地域に根差して取り組んでいることから、NPO法人に対し、その実績や知見を生かすことが有効だと考え、今回の随意契約となりました。当該NPO法人は、建設業の許可を取得していませんが、直接施工せず、最適な業者に設計、建築業務を発注するものです。また、社会実験による事業なので、公の施設にはあたらないと判断しています。これらのことから、業務委託が可能であり、法律違反にもあたらないと判断をしています。

●その他の質問事項  
在宅介護●平成24年度中心市街地活性化事業

●議案第73号 工事委託契約の締結

## 常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事

小松豊正

問 ①JR東日本との石岡駅橋上化及び自由通路工事委託契約で、交渉の主な論点を伺います。

②委託契約金額の具体的な説明のほか、工事終了後の鉄道施設、都市施設の帰属先がどこになるのか伺います。

③契約金額が妥当である根拠は何か。駅周辺整備計画と駅周辺にかかわる全体の予算を伺います。



▲JR石岡駅完成イメージ鳥瞰図（東口）

答 ①法令に基づき、整備の方法及び費用負担を協議し、施設規模は、JR東日本での社内規定を基に、建設コストを考慮したコンパクトな施設づくりを目指してきました。

②工事委託費総額27億6292万円の内訳は、駅舎橋上化整備に17億368万円、自由通路整備に10億5924万円です。財産の帰属は、鉄道施設がJR東日本、都市施設が石岡市に帰属します。

③工事費は、JR東日本で定める保安基準等の積算基準で算出しています。全体事業費は合計36億6000万円で、その財源として、国の交付金17億4000万円、基金が10億1000万円、地方債が7億2000万円、一般財源が1億9000万円を計画しています。

●**その他の質問事項**  
●専決処分（石岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

●議案第72号 工事請負契約の締結

## 平成24年度国補石岡市立北小学校校舎建設工事

岡野孝男

問 昨年6月の議会で、八郷中学校武道場建設工事の請負契約を締結する議案が、業者の都合により撤回を余儀なくされました。石岡市としてみれば、前代未聞でしたが、その業者と北小学校校舎建設工事の請負契約を締結することに、再び撤回される懸念はないのか。

当業者が同建設工事の条件付き一般競争入札に参加できた経緯を伺います。

また、武道場建設工事の契約締結を取下げた業者と、再び学校関係の校舎建設工事請負契約を締結しようとする理由を伺います。

答 落札業者は、昨年度、石岡市建設工事等請負業者指名停止等措置要綱に基づき、平成24年6月25日から3か月間の指名停止措置を受けていましたが、指名停止満了後は指名業者選定の対象となっています。

今回の条件付き一般競争入札に当たり、告示時に指名停止の措置を受けていないこと、また、市内に本店を有し、建築一式工事の総合評価値が7000点以上、年間平均完成工事高が1億円以上、特定建設業の許可を有していること等を条件として入札を行ったところ、このような結果となりました。なお、契約を撤回される懸念はないと信じています。

## 議場の紹介

（議会傍聴は12ページ参照）



▲傍聴席から見た議場の様子

議場は、議員全員が集まって議会の会議が開かれる場所、議会の意思は本会議の議決によって最終的に決定されます。

正面中央、議場全体を見渡せる一番高いところに議長席があり、議長はここから開会・閉会を宣言したり、質問者や答弁者を指名するなど、会議を運営します。その隣には、会議進行を補佐する議会事務局長席があり、議長席の手前には、市長が議案の提案理由の説明などを行う演壇、両脇には市の執行部席があります。



▲議長席から見た議場の様子

議長席の前にずらりと並ぶ議席は全部で24席。座席は全て指定されていて、席にはそれぞれ名札があります。名札にはセンサーがついていて、出席議員が名札を立てる（前席参照）と、側面の電光掲示板に出席者としてカウントされます。

議席後ろの一段高い場所には、全50席の傍聴席があります。石岡市議会では、傍聴席からも発言中の議員の表情がわかるように、議場側面に液晶モニターを2台設置しています。

# 委員会の活動

\*6月19日に任期満了に伴う  
常任委員会の改選がありました。  
(新しい構成は12ページ参照)

●石岡市議会には、4つの常任委員会が置かれています。委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、それぞれが、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容をご報告します。

## ●総務委員会

### 防災行政無線施設の整備

6月17日に開催した当委員会では、付託された議案の審査のほか、「防災行政無線施設整備」の報告を受けました。

防災行政無線は、平成24年度から3か年の整備を予定していますが、昨年度実施計画書を作成し、平成25、26年度の2か年で設置工事が計画されているとのこと。その内容は、親局設備・Jア



▲防災行政無線の屋外拡声子局(屋外スピーカー)

ラート自動起動装置の整備や避難所をはじめとする市内各地への屋外拡声子局の設置、難聴地域や土砂災害警戒区域内への戸別受信機の設置などで、総事業費6億9252万2千円を予定しているとのこと。執行部から「今年度は親局設備と公共施設用地への屋外拡声子局30基の工事を、26年度には、残りの81基と戸別受信機の設置工事を行う計画である」との説明がありました。委員から

「屋外拡声子局を公共用地以外に設置する場合の対応や運用後の情報発信にあたり、防災や災害情報以外にも放送する考えがあるか」との質問に、執行部から「管理運営規則等を定める必要があること、運営委員会等の立ち上げを検討している」との答弁がありました。

そのほか、5議案はすべて原案可決(承認)すべきものとの審査結果になりました。

## ●教育福祉委員会

### 八郷中学校、教育バスの運行

5月21日の当委員会で、八郷中学校の管理運営状況の調査として、「教育バスの乗降場所」と「ゲラウンドの雨水対策状

況」の現地を確認し、執行部から説明を受けました。3校を統合した八郷中学校では、通学区域が広がったため、バス路線がない遠距離通学する生徒が登下校できるように、教育バスを運行しています。また、28箇所の乗降場所、4路線で4台の教育バスを運行し、118名の生徒が利用しています。委員から「乗降場所に鍵をかけていない自転車や学校まで持参するはずのヘルメットがカゴに入れてある自転車があり、盗難にあうのではないのか」との質問に、執行部から「中学校と協議をして、徹底を図りたい」との答弁がありました。

また、「季節によって、日が早く暮れるため、防犯上の観点から灯りが必要ではないのか」との質問に「状況を再度確認して、何らかの対応ができないのか、検討したい」との答弁がありました。

## ●基金条例の一部改正

6月14日の当委員会は、付託された議案の審査を行いました。そのうち、基金条例の一部を改正する2つの議案は、市に5000万円の寄附があり、それを基金とする議案です。市内在住の方から寄附の申込みを受け、その用途を相談したところ、1つは、奨学金として加え、もう1つは、石岡市小学校入学福祉祝金基金として小学校へ入学する児童を監督保護する配偶者のいない父、母等や身体障害者手帳を有する父、母等に入学福祉祝金を支給するため、新たに設けるものです。委員から「案内をどのような方法で周知するのか」との質問に、執行部から「市報で広報するとともに就



## ●環境経済委員会

### 茨城県フラワーパークのリニューアル

6月17日の当委員会で、付託された議案の審査のほか、改修工事を行っていた茨城県フラワーパークの現況報告を受けました。

フラワーパークは昨年度から行っていた駐車場施設のリニューアルが完了し、5月31日にはレストラン「Yasato deトレタ」がオープンしました。平日約100人、土日約140人が訪れ、連日多くのお客様で賑わいを見せています。また、フラワーパークの来園者数もゴールデンウィーク期間中には、対前年比22.4%増の2万人の方が来園し、4月から

5月の期間だけで対前年比17.1%増の6万5664人となり、大幅な伸びを記録したとのことです。

執行部から「リピーターばかりではなく、新たな来場者など入込状況が大変好調なことから、これを維持するために、首都圏企業や本市と交流がある自治体など、特定地域にターゲットを絞った広報活動や観光PR用資材の見直しといった戦略的な情報発信に努めつつ、大温室の改修やバラの庭園づくりといったフラワーパーク園内施設、レストラン及び直売所施設との連携により、地域資源を最大限に活用した八郷地区全体の活性化につなげていくこと。併せて、今後は石岡地区で施設整備も行い、好調な八郷地区観光施設との回遊性を高めるなど滞留型観光の推進強化に努めたい」との考えが示されました。

そのほか、3議案はすべて原案可決(承認)すべきものとの審査結果にな



▲自然派レストラン「Yasato de トレタ」

りました。

●都市建設委員会●

常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事の工事委託契約の締結

6月14日の当委員会では、付託された議案の審査を行いました。そのうち、常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事の工事委託締結についての議案の説明が執行部からありました。

契約金額は、27億6292万円で、駅舎の構造が鉄骨造り2階建て、延

べ床面積1384.58平方メートル、鉄骨造り2階建ての自由通路の建設を行う工事となり、平成27年3月31日までの工期を予定しているとのことです。これらの駅舎及び自由通路の建設工事は、鉄道を運行しながらの工事になるため、安全面を考慮し、電車が走行していない時間帯での夜間工事となること、また、駅構内から離れる東口の自由通路や西側の都市施設は、昼間の工事を計画しているとのこと。委員から「トイレの解体に際し、仮設トイレは作らないのか」との質問に、執行部から「仮設トイレを設置し利用者の利便性を図るよう進めていく」との答弁がありました。

また、「JRの負担金は石岡駅では7400万円だが、他の事例、友部駅や岩間駅ではどのくらいの負担金なのか」との質問に、「友部駅は、1億3000万円。岩間駅は、9270万円がJRの負担金である」との答弁が

あり、審査の結果、原案可決すべきものと決しました。

そのほか、2議案も原案可決すべきものとの審査結果になりました。



▲JR石岡駅の橋上駅舎完成イメージ図(西口)

平成25年  
第3回定例会のお知らせ

第3回定例会は、この日程で開催する予定です。なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、本庁舎・八郷総合支所の1階ロビー、まちかど情報センターで中継をご覧いただけます。



月 日	曜	主 な 内 容	場 所	放映
8月27日	火	議案の提案理由説明など	本会議場	有
9月2日	月	一般質問	//	//
3日	火	一般質問	//	//
4日	水	一般質問	//	//
5日	木	議案質疑	//	//
6日	金	常任委員会	委員会室	無
9日	月	常任委員会	//	//
10日	火	議会運営委員会	全員協議会室	//
11日	水	議案の採決など	本会議場	有

※平成24年度各会計の決算審査は9月24日(火)～26日(休)に行う予定です。

## 常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の構成が決まる

石岡市議会では、議案や陳情などの審査を少人数で能率的・専門的に進めるため、所管ごとに4つの常任委員会（総務・教育福祉・環境経済・都市建設）を設置しています。また、議会を円滑に運営するために各会派から選出された議員で構成する議会運営委員会、特定案件を審査・調査するための特別委員会を設置しています。

### 常任委員会

◎印は委員長 ○印は副委員長です

総務委員会	教育福祉委員会	環境経済委員会	都市建設委員会
総合計画、行財政改革の実施状況など企画に関する事、税金に関する事、市の人事制度、消防、防災などを調査・審査します。	市内小中学校や幼稚園に関する事、文化財の保存・活用や文化の振興、子どもやお年寄りの福祉に関する事などを調査・審査します。	農業や商工業の振興、国民健康保険、後期高齢者医療、市民との協働によるまちづくり、ごみや廃棄物などの環境問題、防犯などを調査・審査します。	道路や下水道整備、公園などの整備、都市計画、開発行為、市営住宅の管理運営などを調査・審査します。
◎池田正文	◎菱沼和幸	◎塚谷重市	◎高野要
○山本進	○谷田川泰	○岡野佐工	○鈴木米造
徳増千尋	鈴木行雄	磯部延久	前島守雅
岡野孝男	島田久雄	村上泰道	山口晟
関昭	野口伸隆	勝村孝行	関口忠男
小松豊正	岡野孝雄	玉造由美	大槻勝男
議会運営委員会		特別委員会 議会改革特別委員会	
議会の運営に関する事や議会広報紙に関する事などを調査・審査するほか、意見書提出を求める請願・陳情の審査も行います。		議会活動における基本的事項の確立などを含めた議会改革のため、議会基本条例の制定及び議会改革に関する調査・研究を行います。	
◎鈴木行雄	岡野孝男	◎岡野孝男	高野要
○磯部延久	関口忠男	○村上泰道	塚谷重市
前島守雅	山本進	鈴木行雄	菱沼和幸
塚谷重市		前島守雅	池田正文

## 》》》》議会を傍聴してみませんか《《《《

石岡市議会では、本会議と常任委員会を一般に公開しており、議会の傍聴ができます。傍聴をご希望の方は、石岡市議会ホームページ、又は議会広報紙等に掲載される会議案内にて日程をご確認のうえ、本会議は八郷総合支所4階議場の「傍聴席入口」まで、常任委員会は八郷総合支所4階の「議会事務局」までおいでください。なお、傍聴は先着順となります。



## ご意見・ご感想

市議会だよりに関するご意見・ご感想や市議会へのご意見・ご要望をお受けしていますので、石岡市議会事務局までお寄せください。

あて先・お問い合わせ

### 石岡市議会事務局

〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1

Tel.0299-43-1111

E-mail: ishiokashigikai@muse.ocn.ne.jp

## インターネットで会議録検索

石岡市議会



<http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/>

石岡市議会のホームページから、本会議や常任委員会等の会議録を読むことができます。

本会議の会議録は、合併した平成17年10月以降、また、平成3年から平成17年までの旧石岡市議会の会議録を掲載しています。石岡市議会ホームページの「会議録検索」から、発言者などの単語検索がご利用いただけます。

